

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 根戸教室 保護者等数(児童数) 回収数 19 割合 80 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1		2	記録などを読むと適切な体制になっていると思う。夏はお出かけをするが冬は室内が多いと狭く感じるかもしれない	冬でもお天気の良い日には、外に出る機会を多くしていきたい。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1		5		お子様の人数に合わせて配置できるように努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1		5		引き続き、より良い環境作りに努めていきたいと考えております。同時に必要に応じた設備のバリアフリー化も検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11		1	5	送迎車が汚れていることが多い。	時間があるときには洗車をしたり、窓だけでも拭く習慣をつけたい。より心地よい環境で過ごせるように環境作りに努めていきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15			3	まだ利用開始したばかりで分からない。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16			2		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14			1	少しずつできることが増えています。	月に一度、お子様のカンファレンスを行うようにしています。この中にはこんな事をした方がよいなど職員同士話し合いをよくしています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	1		1	制作などいつも違うものを持ち帰ってきます。	お子様が楽しみながら様々な経験を積み重ねられるよう、プログラムの作成に努めていきたいと考えております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	1	3	3		幼稚園・保育園と連携を取り、見学に行かせていただいたり、こばんでの様子を見に来て頂いています。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					契約時に丁寧に説明をさせて頂いています。随時、質問等を受け付けております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	17	2	1	3		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15		1			
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	1	3		個別にご質問やご相談を頂き、対応させて頂いています。相談しやすい環境に引き続き努めていきたいと考えております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11		4	5	特に必要性を感じない。保護者同士の連携は必要ないが参加型ならいいと思う。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	1		1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14			3	行事予定表を毎月もらっている。	ブログやお便り・行事予定表・活動写真の発行を引き続き行っていきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14			3		
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13			4	手洗いうがいの習慣がついています。	避難訓練を毎月行っています。避難訓練のようすなどお便りなどでお知らせしています。引き続き続けていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11			6		
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1		1	帰って来るといっても満足そうな表情をしている。	より楽しく、面白く過ごせるように環境を整えていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	15	1		1		今後も気楽に何でも相談できるような場所になるように努めます。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 根戸教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11		利用者が多い時には、二つの部屋に分けて活動を行っています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	5	5	必要に応じて、状況を見て判断して配置人数を変更している。児発・放デイお互いにカバーしあっている。	日によって配置の人数にバラつきがあるのでシフトや出勤できる職員がいらないか連絡して調整していく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	1		言葉では理解が難しいお子様には、絵カードを使うなど工夫していきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1	各エリアに清掃方法などを記載している。消毒・スペースの確保をしっかり行っている。空気の入替えの徹底は引き続き必要。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	ミーティングルームを行い、情報共有、支援の方法の統一、改善点を話し合う	振り返り、改善をその場でなかなかできないので同じ事を繰り返さないように、していきたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		アンケートの実施をしている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	3	ZOOMなどを利用している。	支援などの疑問など個人的に聞くことは出来ているが、それを職員間でも共有していきたい定期的に行えと良い。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		保護者様の要望はできることを行っている。	お子様、それぞれのニーズを理解して取り組む必要がある。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			全てを共有しきれていないので、もう少し共有できるようにしていきたい。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11		チームに分かれていて、チーム全員で意見を出し合い、様々な活動を取り入れている。	引き続き、職員たちでお子様を楽しめる活動を考えていきます
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	3	当日の欠員・状況を配慮し臨機応変にかけることがある。月のカレンダーでその日の内容を事前に共有している。	出勤時間が異なる職員もきちんと共有できるように、各自進んで確認をしていく。開始前に終わらないこともあるので朝の時間など有効活用する。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		経過などをお子様の利用時必ず記入し、職員同士共有できるようにしている。	
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		事情がある家庭など関係機関から連絡があり情報を共有している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	1		現在は、医療的ケアや重症心身障害のあるお子様をお預かりしていませんが、今後必要であれば、適切な連体制を整えたいと考えます。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		担当者が行い、職員等で情報共有させている。	全てのお子様の関係機関とはありませんが必要に応じて共有を図っております。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	担当者が行い、職員等で情報共有させている。	全てのお子様の関係機関とはありませんが、必要に応じて共有を図っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	担当者が行い、職員等で情報共有させている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	5	近隣の公園等に積極的に出かけています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3		担当者が行い、職員等で情報共有させている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	2	連絡帳でのやり取りや送迎の際、自宅での様子を聞いたり、教室での様子を報告する。	今後送迎の際に保護者様の話に耳を傾けるように心掛けています。終礼や職員会議で情報共有を行っております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3			今後前向きに検討したいと考えております。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		担当者が行い、随時お問い合わせの対応も行っていきます。	担当者が随時個別で行っていますが、よりお気軽にご相談できるよう努めます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		担当者が行っております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		連絡帳・メール・電話・面談と保護者様の使いやすい手段で伝えている。	対応できるように日々、職員同士話し合っていきたいし、学びたい。お気軽に相談できるように努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		チャットなどを利用して、相談など全体で共有するようにして、終礼で共有している。	ご相談に対しては、必要に応じて対応に迅速に行うように努めて行きます
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		2ヶ月に1回、おたよりを作成してこぼんの様子を伝えています。	引き続き、おたより・活動写真・行事予定表の発行を継続します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			言葉では理解が難しいお子様には、絵カードを使うなど工夫していきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	避難訓練を毎日行うようにしている。	避難訓練も地震・火事・災害時の避難場所などいろいろな場面に対応できるように工夫していきたいし、避難場所を職員同士把握できるようにしたい。すぐに確認できる環境を整えたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1		ご契約・面談時に必ず確認しております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		すぐに記入できるように、各教室に用紙を設置している。	すぐに記入できるように設置しているが、なかなか記入できていないので、何か違う方法を考える必要がある。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		4人でZOOMを使い、定期的に研修を行っています。	定期的に職員研修を行います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1		職員同士の理解・共有がもつと必要。